

## セルア・リュスト=ブルビナ氏 講演会・セミナーのお知らせ

### ■プログラム

#### ① 2月16（金） 日仏会館ホール 18時～20時

「ファノン——植民地支配下における人種、ジェンダー、人間的実存」

司会－澤田直 ディスカッション－鶴飼哲 通訳－三浦信孝

[https://www.mfj.gr.jp/agenda/2024/02/16/2024-02-](https://www.mfj.gr.jp/agenda/2024/02/16/2024-02-16_seloua_luste_boulbi/index_ja.php)

[16\\_seloua\\_luste\\_boulbi/index\\_ja.php](https://www.mfj.gr.jp/agenda/2024/02/16/2024-02-16_seloua_luste_boulbi/index_ja.php)

主催：セルア・リュスト=ブルビナ氏招聘グループ

日仏会館・フランス国立日本研究所

協力：（公益財団法人）日仏会館

#### ② 2月18日（日） 日仏会館（501 セミナー室） 15時～18時

「フランスにおけるポストコロニアル研究——ジェンダーと植民地」

司会－増田一夫 通訳－福島亮

<https://www.mfjtokyo.or.jp/events/co-sponsored/20240218.html>

主催：セルア・リュスト=ブルビナ氏招聘グループ

共催：（公益財団法人）日仏会館

協力：日仏会館・フランス国立日本研究所

科学研究費補助金 基盤研究（B）「結婚の歴史再考——フランスの事例から

みる（ポスト）結婚、生殖、親子、家族」（代表：増田一夫）

#### ③ 2月19日（月） 東京大学駒場Ⅰキャンパス

18号館4階 コラボレーションルーム1 15

時～17時

「アルジェ～東京——友情の政治学」

司会－星埜守之 通訳－鶴戸聡

<http://hsp.c.u-tokyo.ac.jp/archives/4253>

主催：セルア・リュスト=ブルビナ氏招聘グループ

共催：武蔵大学人文学会

東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム

④ 2月20日(火) 一橋大学佐野書院 18時～20時

「境界を通過しつつ考える——哲学の脱植民地化、脱植民地化の哲学」

司会－鵜飼哲 ディスカッサント－福島亮 通訳－石川清子

<http://www.projectwatan.jp/archives/activities/activities-3410>

主催：科学研究費補助金 基盤研究（A）「トランスナショナル時代の人間と

「祖国」の関係性をめぐる人文学的、領域横断的研究」（代表：岡真理）

協力：セルア・リュスト＝ブルビナ氏招聘グループ

⑤ 2月27日（火） 琉球大学人文社会学部文系講義棟 112教室 14時～17時

「海外領とフランスの影響力」

司会－呉世宗 ディスカッサント－新城郁夫 通訳－鵜飼哲

<http://www.projectwatan.jp/archives/activities/activities-3430>

主催：科学研究費補助金 基盤研究（A）「トランスナショナル時代の人間と

「祖国」の関係性をめぐる人文学的、領域横断的研究」（代表：岡真理）

協力：セルア・リュスト＝ブルビナ氏招聘グループ

■講師のプロフィール

哲学者、国際哲学コレージュの「知の脱植民地化」プログラムの元ディレクター。パリ・シテ大学連携研究員。北京大学、ブラジリア大学で教鞭を取り、ニュー・カレドニアに哲学視察官として勤務したほか、グローバルサウス各地で招聘講演を重ねている。

脱植民地化の理論家として植民地的、ポスト植民地的状況を政治的、知的、芸術的次元で研究、アーティストと哲学者のコラボレーションを組織するとともに、アルジェ、ニューヨーク、ダカールを結ぶ「越境哲学（transphilosophie）」を構想、推進した。

著書に『カフカの猿および植民地に関するその他の発言』（2008）、『アラブ人は語ることができるか？』（2011）、『アフリカとその幽霊たち』（2015）、『放浪する鏡たち、あるいは知の脱植民地化（アート、文学、哲学）』（2018）、『アルジェ／東京——アジアにおける反植民地主義の密使たち』（2023）などがある。